

第220回柏崎地域早期景気観測調査 報告書

< LOBO調査結果 >

— 平成30年3月期 —

〔調査方法〕

会員企業175社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」(※従業員DIについては今期水準)および「向こう3カ月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。

DI値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

〔DI値とは〕

DI値(景況判断指数)とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」-「悪化」	【売上】…「増加」-「減少」
【採算】…「好転」-「悪化」	【資金繰り】…「好転」-「悪化」
【仕入単価】…「下落」-「上昇」	【従業員】…「不足」-「過剰」
【資金借入難易感】…「容易」-「困難」	

〔調査対象業種〕

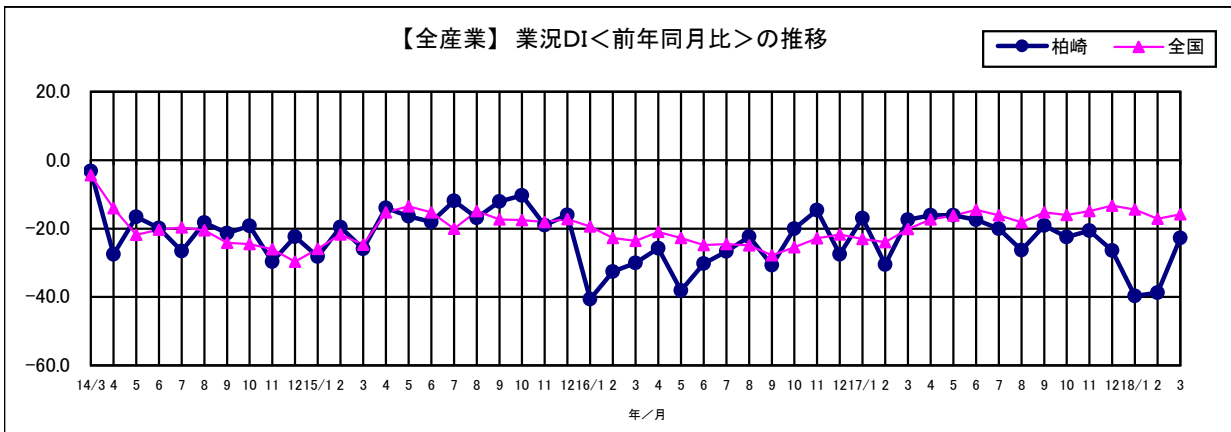
建設業	総合工事業、設備工事業、職別工事業
製造業	鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業
卸売業	建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業
小売業	飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業
サービス業	宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

〔調査対象数・回答状況〕

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	39	47	25	30	34	175
回答数	31	33	13	14	26	117
回答率(%)	79.5%	70.2%	52.0%	46.7%	76.5%	66.9%

◆概況(全産業合計)

項目		17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	先行き見通し 4月~6月
業況	柏崎	▲ 22.5	▲ 20.6	▲ 26.4	▲ 39.7	▲ 38.8	▲ 22.8	▲ 22.4
	全国	▲ 16.0	▲ 14.9	▲ 13.3	▲ 14.4	▲ 17.1	▲ 15.8	▲ 14.0
売上	柏崎	▲ 14.5	▲ 21.4	▲ 29.4	▲ 31.2	▲ 40.6	▲ 26.1	▲ 29.6
	全国	▲ 11.6	▲ 9.5	▲ 6.0	▲ 10.3	▲ 12.6	▲ 11.1	▲ 10.0
採算	柏崎	▲ 24.4	▲ 23.4	▲ 21.6	▲ 38.5	▲ 36.8	▲ 35.5	▲ 34.1
	全国	▲ 15.5	▲ 15.1	▲ 11.9	▲ 15.3	▲ 19.6	▲ 16.5	▲ 15.0
資金繰り	柏崎	▲ 11.2	▲ 9.9	▲ 13.4	▲ 18.3	▲ 16.7	▲ 16.5	▲ 17.5
	全国	▲ 7.8	▲ 8.8	▲ 8.3	▲ 9.8	▲ 10.8	▲ 10.1	▲ 10.1
仕入単価	柏崎	▲ 33.3	▲ 31.6	▲ 35.5	▲ 38.3	▲ 41.7	▲ 46.0	▲ 47.8
	全国	▲ 33.3	▲ 37.5	▲ 37.8	▲ 41.4	▲ 41.9	▲ 41.0	▲ 36.7
従業員	柏崎	23.2	18.9	11.6	12.4	20.4	26.4	27.6
	全国							26.0
資金借入難易感	柏崎	▲ 6.9	4.1	▲ 1.4	▲ 1.7	▲ 1.9	1.6	0.2



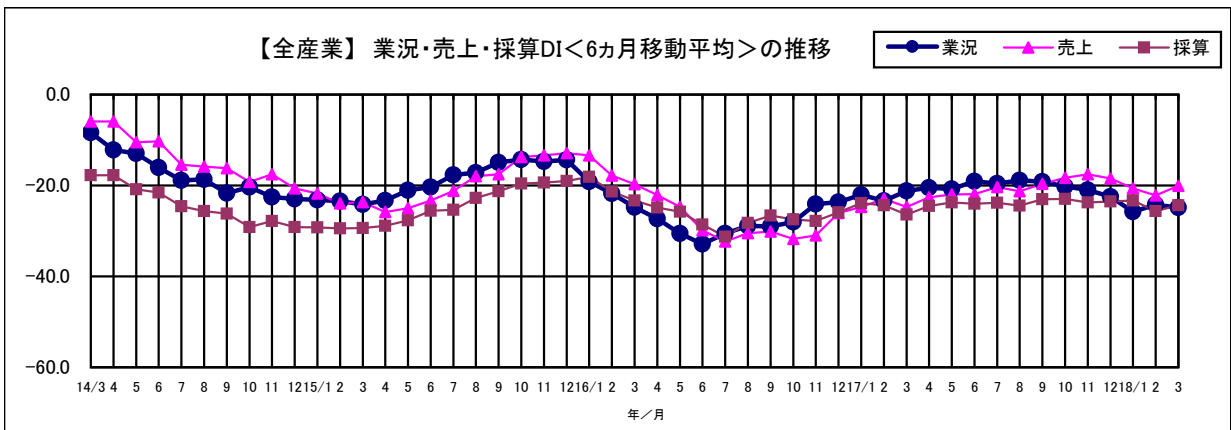
柏崎地域全体の業況DI(前年同月比)は▲22.8となり、前月より16.0ポイント改善した。売上DIは14.5ポイントの改善となった。採算・資金繰り・仕入単価DIは横ばいであった。業種別に見ると機械金属製造業、サービス業の大幅な改善が要因となっている。全業種通して、人手不足感が強い。

向こう3か月の先行き見通しについては、業況・売上・採算DIにおいてほぼ横ばいとなる見込みである。

【移動平均分析(全産業)】

時系列データでみた場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがあります。移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

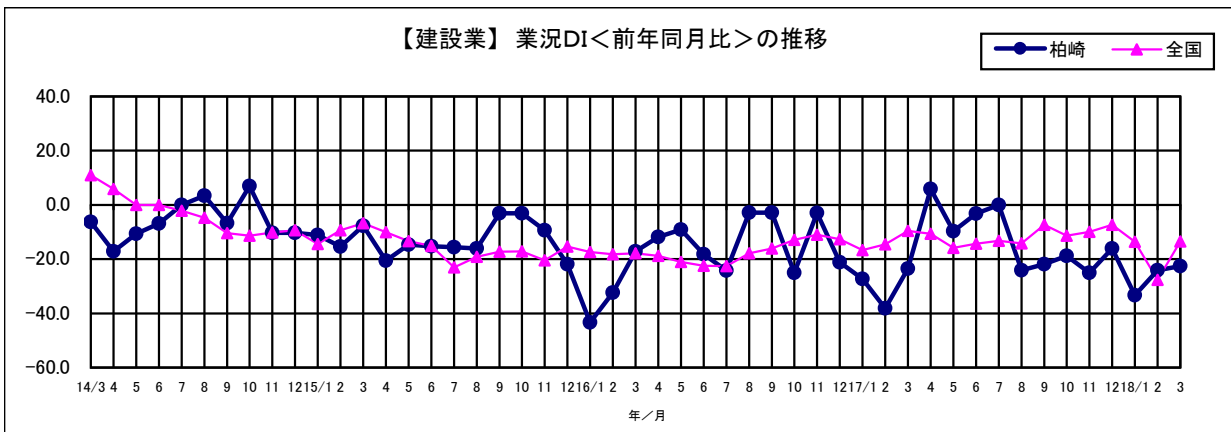
ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6か月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



◆産業別調査結果

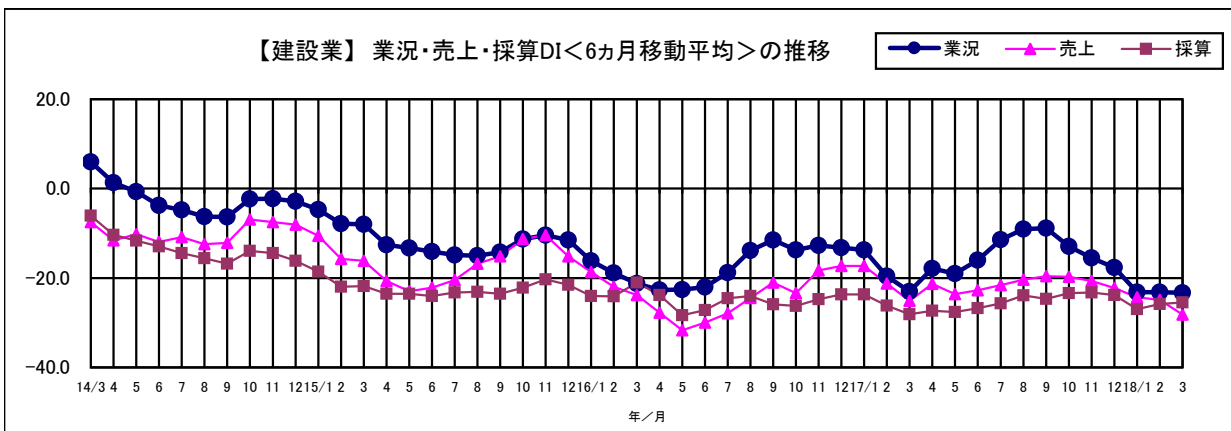
【建設業】

項目		17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	先行き見通し 4月～6月
業況	柏崎	▲18.8	▲25.0	▲16.1	▲33.3	▲24.1	▲22.6	▲25.8
	全国	▲11.4	▲10.0	▲7.4	▲13.6	▲11.4	▲13.5	▲21.2
売上	柏崎	▲15.6	▲28.1	▲25.8	▲30.0	▲31.0	▲38.7	▲29.0
	全国	▲9.4	▲9.4	▲10.3	▲16.8	▲11.4	▲13.1	▲16.8
採算	柏崎	▲18.8	▲28.1	▲19.4	▲36.7	▲20.7	▲29.0	▲32.3
	全国	▲14.1	▲12.0	▲8.1	▲12.9	▲14.2	▲14.3	▲20.7
資金繰り	柏崎	▲15.6	▲18.8	▲19.4	▲33.3	▲20.7	▲22.6	▲25.8
	全国	▲5.2	▲6.0	▲5.6	▲6.6	▲6.8	▲8.5	▲10.4
仕入単価	柏崎	▲31.3	▲28.1	▲25.8	▲30.0	▲31.0	▲29.0	▲38.7
	全国	▲36.3	▲39.8	▲37.3	▲39.0	▲41.2	▲39.7	▲41.4
従業員	柏崎	31.3	34.4	19.4	10.0	20.7	19.4	25.8
	全国							32.4
資金借入難易感	柏崎	▲3.1	3.1	6.3	9.7	0.0	▲3.2	▲6.5



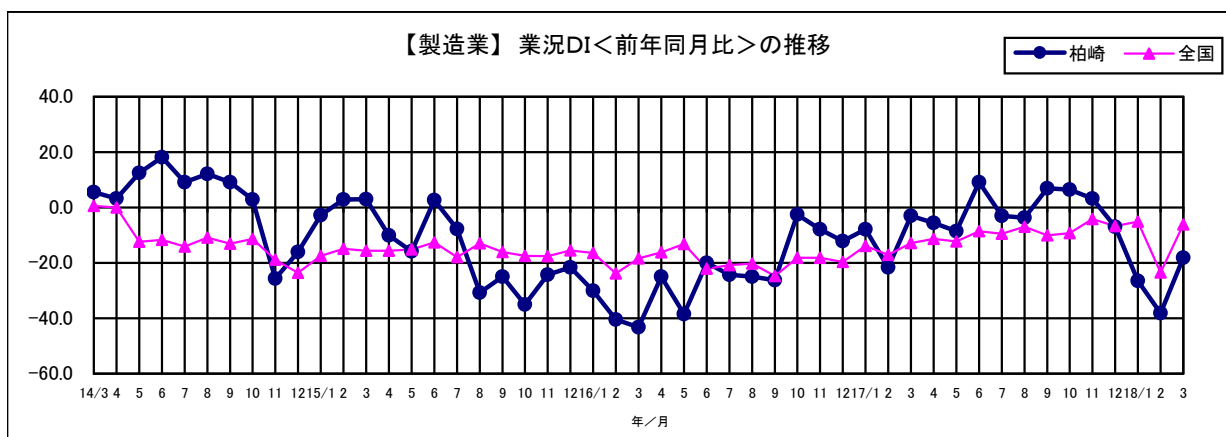
業況DIは▲22.6となり、前月とほぼ同様になっている。売上・採算DIは悪化した。仕入単価については全業種「上昇」の回答が目立つ中、約7割の事業所より「適正」との回答があった。向こう3ヶ月の先行きについては、業況・採算DIは横ばい、売上DIは改善の見込みとなった。

【移動平均分析(建設業)】



【製造業】

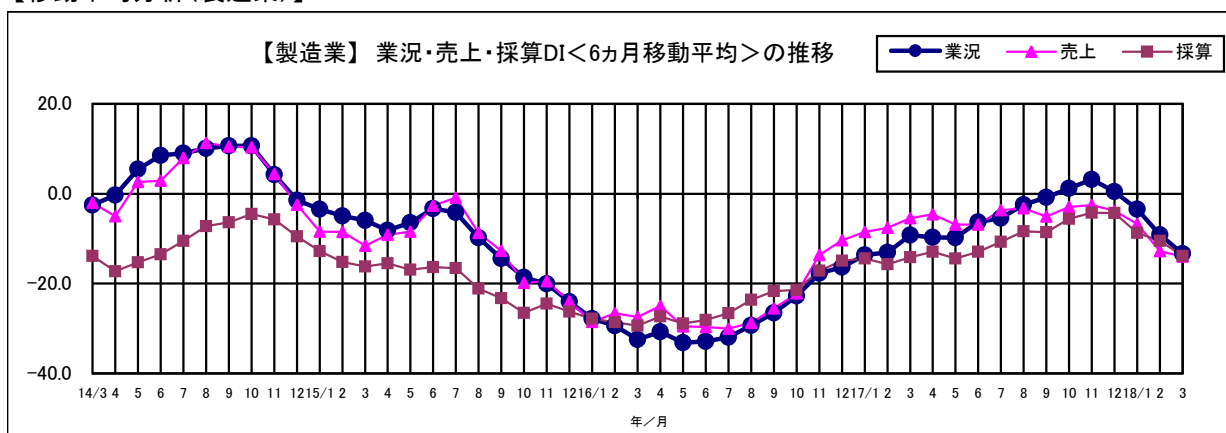
項目		17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	先行き見通し 4月～6月
業況	柏崎	6.5	3.2	▲ 6.9	▲ 26.5	▲ 38.2	▲ 18.2	▲ 21.2
	全国	▲ 9.3	▲ 4.2	▲ 6.7	▲ 5.1	▲ 10.1	▲ 6.1	▲ 4.6
売上	柏崎	9.7	▲ 3.2	▲ 10.3	▲ 11.8	▲ 47.1	▲ 21.2	▲ 30.3
	全国	▲ 3.1	3.2	3.1	0.0	▲ 0.5	2.3	▲ 1.0
採算	柏崎	9.7	▲ 3.2	▲ 3.4	▲ 26.5	▲ 29.4	▲ 30.3	▲ 27.3
	全国	▲ 11.4	▲ 8.0	▲ 8.0	▲ 8.5	▲ 13.5	▲ 10.2	▲ 10.8
資金繰り	柏崎	▲ 3.2	6.5	0.0	▲ 2.9	▲ 8.8	▲ 6.1	▲ 9.1
	全国	▲ 3.6	▲ 5.3	▲ 3.6	▲ 7.1	▲ 8.1	▲ 7.1	▲ 8.7
仕入単価	柏崎	▲ 32.3	▲ 22.6	▲ 31.0	▲ 44.1	▲ 44.1	▲ 51.5	▲ 48.5
	全国	▲ 36.5	▲ 41.4	▲ 44.2	▲ 44.4	▲ 45.6	▲ 44.4	▲ 41.6
従業員	柏崎	9.7	9.7	6.9	23.5	23.5	24.2	24.2
	全国							18.5
資金借入難易感	柏崎	0.0	12.9	0.0	11.8	11.8	21.2	18.2



業況DIは▲18.2となり、前月より20.0ポイント改善した。1月より全国と比較しても低水準で推移していたが、機械金属製造業では業況・売上DIで「好転」の回答が「悪化」を上回り、プラスとなった。しかし、機械・金属関連以外の製造業において業況・売上・採算の各項目で「好転」の回答はなく、依然として厳しい状況が感じられる。

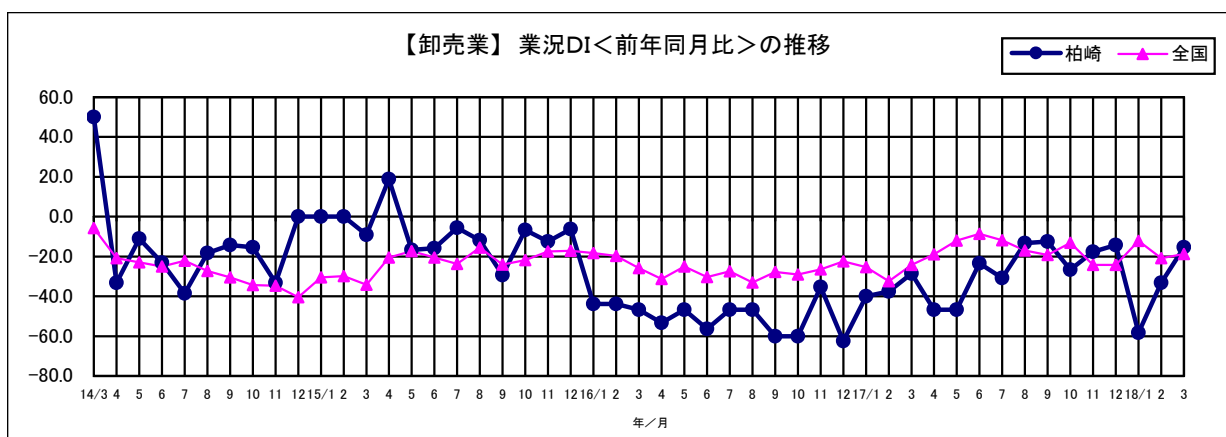
向こう3ヶ月の先行きについては、業況・採算DIとも、横ばいとなる見込みである。

【移動平均分析(製造業)】



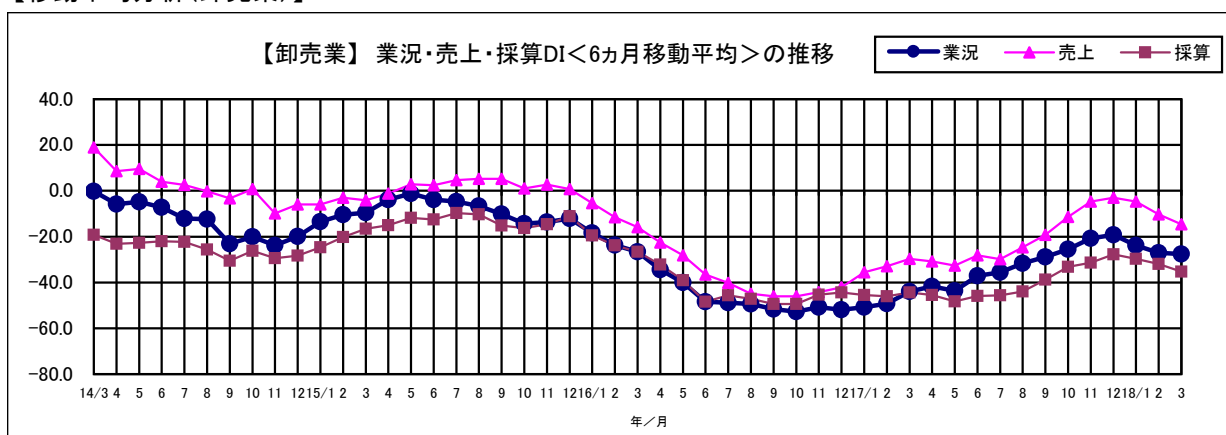
【卸売業】

項目		17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	先行き見通し 4月~6月
業況	柏崎	▲ 26.7	▲ 17.6	▲ 14.3	▲ 58.3	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 7.7
	全国	▲ 13.1	▲ 24.3	▲ 17.4	▲ 12.2	▲ 20.8	▲ 18.8	▲ 16.2
売上	柏崎	0.0	0.0	▲ 7.1	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 7.7	▲ 15.4
	全国	▲ 6.9	▲ 4.3	0.0	0.5	▲ 13.9	▲ 6.3	▲ 11.5
採算	柏崎	▲ 20.0	▲ 35.3	▲ 14.3	▲ 50.0	▲ 53.3	▲ 38.5	▲ 38.5
	全国	▲ 6.4	▲ 19.5	▲ 9.2	▲ 16.2	▲ 18.8	▲ 8.9	▲ 9.9
資金繰り	柏崎	0.0	▲ 11.8	▲ 14.3	▲ 25.0	▲ 6.7	▲ 15.4	▲ 23.1
	全国	▲ 0.5	▲ 7.2	▲ 5.6	▲ 7.1	▲ 3.4	▲ 2.1	▲ 4.7
仕入単価	柏崎	▲ 26.7	▲ 17.6	▲ 35.7	▲ 33.3	▲ 46.7	▲ 46.2	▲ 53.8
	全国	▲ 31.2	▲ 43.3	▲ 39.5	▲ 48.2	▲ 43.2	▲ 39.8	▲ 40.3
従業員	柏崎	13.3	17.6	14.3	8.3	13.3	23.1	23.1
	全国							16.1
資金借入難易感	柏崎	0.0	0.0	14.3	▲ 8.3	▲ 13.3	▲ 7.7	▲ 7.7



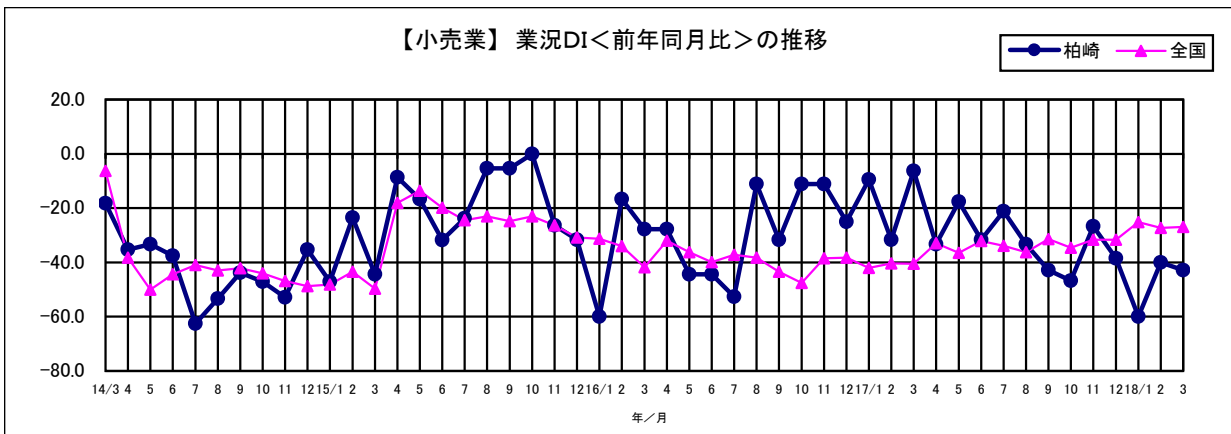
業況DIは▲15.4となり、前月より17.9ポイント改善し、先月に引き続き大幅にマイナス幅が縮小した。しかし、実体は「悪化」から「不変」への変化が主因で実体はほぼ横ばいであり、依然として厳しい状況は続いている。建材・鉱物卸では一部業況の好転傾向という回答もあった。
向こう3ヶ月の先行きについては、業況DIの改善、売上・採算DIともに横ばいとなる見込みである。

【移動平均分析(卸売業)】



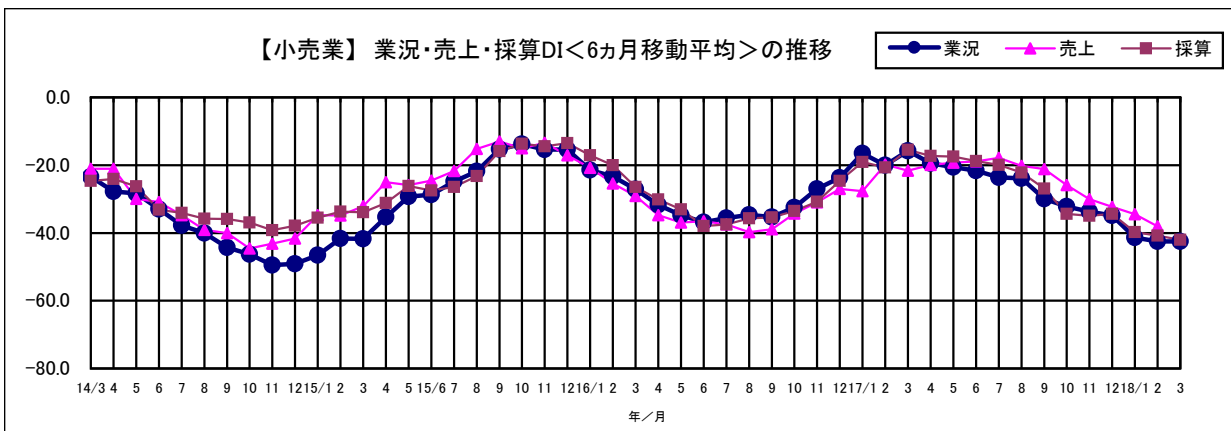
【小売業】

項目		17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	先行き見通し 4月～6月
業況	柏崎	▲ 46.7	▲ 26.7	▲ 38.5	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 35.7
	全国	▲ 34.6	▲ 31.7	▲ 25.8	▲ 25.2	▲ 27.3	▲ 26.9	▲ 24.7
売上	柏崎	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 46.2	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 35.7	▲ 35.7
	全国	▲ 24.0	▲ 27.5	▲ 19.6	▲ 23.0	▲ 25.3	▲ 29.5	▲ 17.4
採算	柏崎	▲ 66.7	▲ 26.7	▲ 23.1	▲ 53.3	▲ 46.7	▲ 35.7	▲ 35.7
	全国	▲ 24.6	▲ 23.8	▲ 17.5	▲ 21.3	▲ 25.1	▲ 22.4	▲ 17.4
資金繰り	柏崎	▲ 26.7	▲ 26.7	▲ 23.1	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 21.4
	全国	▲ 19.0	▲ 19.4	▲ 16.8	▲ 17.7	▲ 21.0	▲ 16.3	▲ 14.7
仕入単価	柏崎	▲ 46.7	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 50.0	▲ 50.0
	全国	▲ 27.7	▲ 29.5	▲ 32.2	▲ 37.0	▲ 37.0	▲ 35.6	▲ 30.5
従業員	柏崎	13.3	▲ 6.7	0.0	▲ 13.3	▲ 6.7	7.1	7.1
	全国							27.0
資金借入難易感	柏崎	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 15.4	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 7.1	▲ 7.1



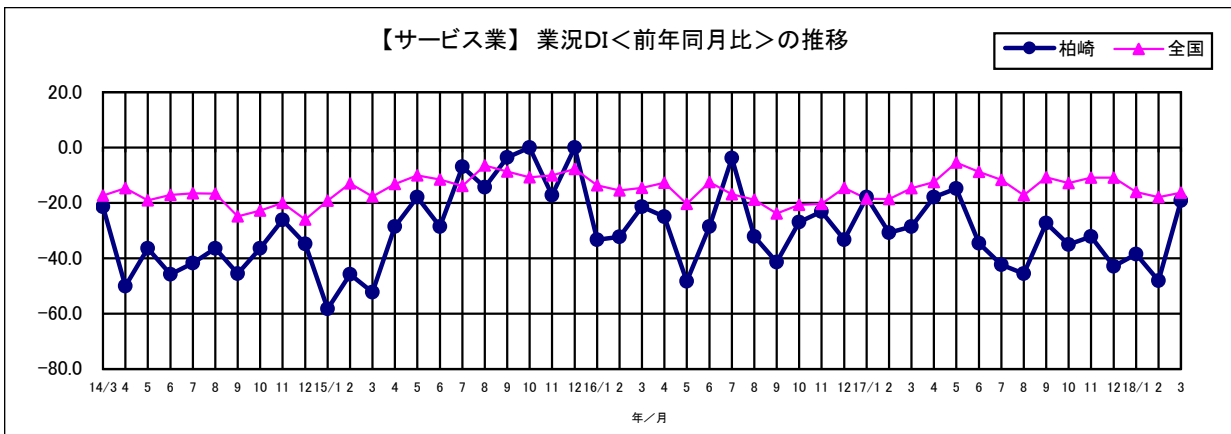
業況DIは▲42.9となり、前月とほぼ同様になっており、全国水準と比較しても厳しい状況であることがうかがえる。食品小売業を中心に業況を下押ししている結果となった。
向こう3ヶ月の先行きについては、各項目においてマイナス幅が縮小しているが「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばいである。

【移動平均分析(小売業)】



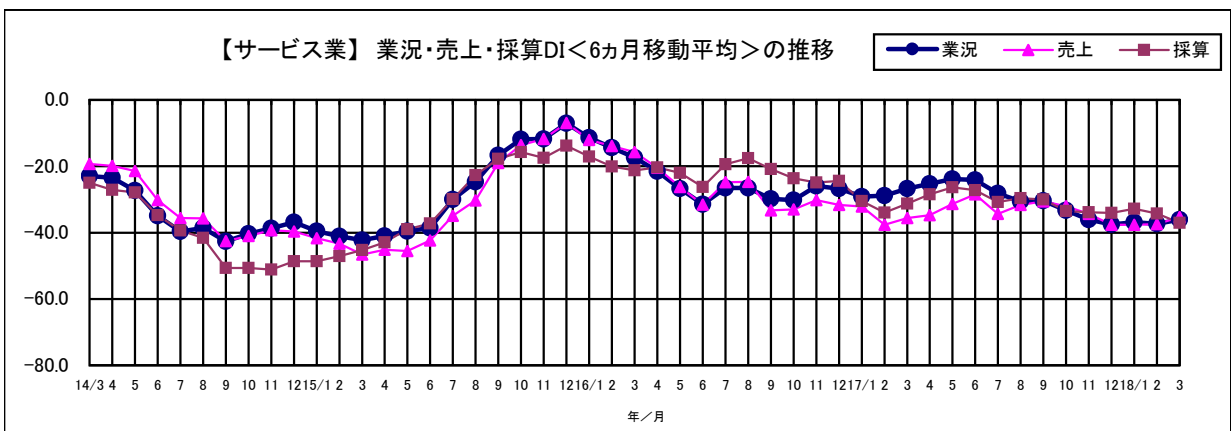
【サービス業】

項目		17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	先行き見通し 4月～6月
業況	柏崎	▲ 35.0	▲ 32.1	▲ 42.9	▲ 38.5	▲ 48.1	▲ 19.2	▲ 19.2
	全国	▲ 12.8	▲ 10.9	▲ 11.5	▲ 16.1	▲ 17.9	▲ 16.3	▲ 8.5
売上	柏崎	▲ 30.0	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.3	▲ 44.4	▲ 23.1	▲ 30.8
	全国	▲ 13.8	▲ 10.2	▲ 4.2	▲ 10.5	▲ 14.6	▲ 9.9	▲ 7.8
採算	柏崎	▲ 35.0	▲ 28.6	▲ 35.7	▲ 38.5	▲ 40.7	▲ 42.3	▲ 38.5
	全国	▲ 17.6	▲ 14.9	▲ 15.3	▲ 17.9	▲ 25.3	▲ 22.9	▲ 15.8
資金繰り	柏崎	▲ 10.0	▲ 7.1	▲ 14.3	▲ 19.2	▲ 22.2	▲ 15.4	▲ 15.4
	全国	▲ 8.5	▲ 6.8	▲ 9.0	▲ 9.1	▲ 11.9	▲ 13.0	▲ 10.3
仕入単価	柏崎	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 39.3	▲ 42.3	▲ 48.1	▲ 50.0	▲ 50.0
	全国	▲ 33.3	▲ 35.4	▲ 35.3	▲ 40.3	▲ 41.8	▲ 43.4	▲ 32.2
従業員	柏崎	40.0	28.6	14.3	19.2	33.3	42.3	42.3
	全国							33.2
資金借入難易感	柏崎	▲ 20.0	3.6	▲ 7.1	▲ 3.8	▲ 7.4	▲ 3.8	▲ 3.8



業況DIは▲19.2となり、前月から28.9ポイントと大きく改善した。売上DIも改善、採算DIについてはほぼ横ばいである。観光サービス業を中心に「好転と回答する企業もみられた。向こう3ヶ月の先行きについては、観光サービス業では横ばいの見込みとなるが、その他サービス業においては「悪化」の回答もみられ先行きの不透明感がうかがえる結果となった。

【移動平均分析(サービス業)】



◆3月調査に寄せられたコメント(自社の動向、経営上の課題など)

<建設業>

・4月から都市ガスが民営化される。売上がどうなるかわからない。(設備工事業)

<製造業>

・新規設備投資を計画しているが、機械納期が延びており、入荷に時間がかかるため困っている。(機械・金属製造業)

・売上高は昨年より上昇して今年も続いているが、原材料が急激に上がり、未だ売上価格の上乗せ交渉が進んでいない為、利幅縮小となっている。(機械・金属製造業)

<卸売業>

・第4週に入り「鯛」が各地で獲れ始めました。4月は昨年に比べ、好漁が続くと思われます。(食料品卸売業)

<小売業>

・市内における本業は依然として厳しさを感じる。昨年数値まで売り上げるには苦戦している。一方、PB(プライベートブランド)部門は堅調に推移し、昨年3月は最高売上げであったが、この3月は昨対売上で180%利益で200%であった。受注額では、本業を上回った。今後も昨対比で、200%300%の受注が見込める。その為、人員不足が課題となっている。(一般小売業)

<サービス業>

・3月中も依然野菜の高騰が続き、仕入価格が上昇し、収益に影響を及ぼした。今後は野菜価格の安定と円高による輸入材料の低下に期待したい。(一般サービス業)

◆参考:全国から日商調査に寄せられたコメント

<建設業>

「公共工事が減少し、売上は悪化。人件費上昇による採算圧迫や受注機会の損失など、技術者不足の影響も深刻化している」(土木工事業)、「工場などの設備投資需要が多く、売上は改善した。生産性向上を図るため、ICTを活用した新しい施工技術の導入を検討している」(一般工事業)

<製造業>

「輸出が引き続き好調で、売上は改善。だが、アメリカによる鉄鋼・アルミ製品の追加関税が日本にも適用されれば、当社の売上に影響が生じるのではないかと懸念している」(金属製品製造業)「燃料費や運送費、原材料価格などの上昇が続き、採算の確保が難しい。販売先に対する価格転嫁交渉を進めると同時に、コストを抑えた新商品の開発を急がねばならない」(繊維製造業)

<卸売業>

「製造業や建設業からの発注が増加し、業績は改善。ベースアップの実施や社内教育の強化により、社員の士気・営業力を向上させ、さらなる売上増を図る」(化学製品卸売業)、「供給不足に伴う農産物価格の高止まりにより、採算は悪化した。だが、今月は天候が落ち着いたため、来月には高値が一段落する見込み」(農産物卸売業)

<小売業>

「インバウンド需要が引き続き好調なことに加え、例年より暖かい日が続いたことで、春物衣料に動きが見られ、売上増となった。」(衣料品小売業)

「消費者の低価格志向が根強く、売上は悪化。人件費や仕入価格が上昇しているが、他社が商品価格を据え置いているため、価格転嫁に踏み切れず、採算も悪化した」(スーパーマーケット)

<サービス業>

「燃料費や人件費の上昇で、採算の確保には苦戦しているが、新年度に向けた引越し需要や製造業からの依頼が多く、売上は堅調」(運送業)、「人手不足の深刻化から、営業時間を短縮せざるを得ず、売上は悪化。それでも客の来店が集中する時間帯には、料理の提供が遅れるなど、対応が間に合わないことがある」(飲食業)